

施策21 活気あふれる商業の振興

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 商工観光部商工観光物産課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
21 活気あふれる商業の振興	商工観光物産課	事業者	事業所数	商品販売額を増やしてもらう	年間商品販売額	(830)	(830)	834	834 (H19調査値)	億円	成 790 目 830	成 780 目 830	成 770 目 870	商業統計	商工観光物産課	・商業統計調査 5年に1回実施、その間2年毎に簡易調査	22年度の目標達成に向けて以下の3点について取り組む必要がある。 ・商店街の賑わい創出 市では、商店街の賑わい対策として、中小企業振興事業や商店街活性化対策事業を実施しているが、取り組まれている事業は、短期・一過性のものになりがちで、その効果については大きく期待できない面があるので、一過性で終わらない継続的な事業を行うよう指導する必要がある。 ・商業経営の基盤の確立 商業経営基盤の強化を図るため、商工会議所と連携し、相談事業や融資のあっせん事業を行っている。また、市融資制度の手続きを簡素化し、利便性を高めている。 ・JR大船渡駅周辺活性化計画の推進 駅前周辺にぎわいの創出を図るため、東西自由通路と都市施設の建設を推進する。 ・全国的な景気の低迷を背景とした消費の伸び悩みや後継者難、さらには消費者のニーズに対応した大型店、コンビニエンスストアの出店の影響等により、一般商店経営者にとっては厳しい状況が続いている。 また、大型店は郊外に出店する傾向にあり、中心市街地となっている盛町・大船渡町の賑わいが薄れてきており、空き店舗の再利用も進んでいない。 このことから、市独自の融資制度や産業振興の補助制度による支援、商工団体による販売促進や賑わいづくりにつながる取組みに対する支援を継続している。	・R大船渡駅周辺活性化計画の推進 駅前周辺にぎわいの創出を図るため、東西自由通路と都市施設の建設を推進する。
					商店街加盟店数	111	111	98	94	店	成 103 目 113	成 98 目 113	成 93 目 120	商業統計	商工観光物産課	・組合加盟店のうち、大船渡大通り商店街振興組合(42店)、さかり中央通り商店街振興組合(52店)の実稼動店舗数の合算		
					大規模小売店舗数(店舗面積1,000㎡超)	7	7	7	7	店	成 9 目 7	成 9 目 7	成 10 目 7	商業統計	商工観光物産課	・商工観光物産課統計データ		

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 元気な商店街づくり	商工観光物産課	市民 事業者 商業施設	人口 事業所数	商店街が賑わっている	地元商店でよく買い物をする と答えた市民の割合	6.8	7.4	7.1	8.3%	%	市民アンケート	商工観光物産課	・H20市民意識調査 ・市融資あっせん制度利用状況資料	地元商店でよく買い物をする と答えた市民の割合は8.3%で、 対前年度比1.2ポイント増加している。 多くの市民は「市内の大型店 (大手スーパー、大型専門店等) で買い物をして」と回答しているが、 その割合は75.4%で前年度より1.7 ポイント減少しており、(H19調査値 77.1%)、地元商店で買い物をする 割合が増加した。	・中小企業振興事業 昨年度は、中小企業者で組織している 団体が取り組んだ販売促進事業、商店街 づくり事業に対して、対象経費の1/2以 内で助成を行った。 ・商店街活性化対策事業 商店街がおこなう販売促進や集客のた めの事業を助成対象としているが、こ こ数年は、「よさこいフェスタ」への助 成を行っている。 ・大船渡商工会議所地域商品券発券事 業 市外への顧客流失の防止及び市内の 消費需要の喚起を目的に大船渡商工 会議所が実施した大船渡地域商品券 発券事業に対し3,500千円補助金を 交付した。
2 商業・サービス業の安定経営支援	商工観光物産課	市民 事業者 商業施設	人口 事業所数	安定して経営できる	廃業・倒産件数	4	6	7	7	件	業務取得	商工観光物産課	・民間リサーチ会社資料	平成20年度の廃業・倒産件数は、 昨年度と同数の7件であったが、 負債額は大幅に減少している (H19実績3,184百万円、H20実 績1,870百万円)。	・中小企業融資あっせん事業 18年度に融資条件の緩和や優遇策等 (限度額を最高50,000千円までに 引き上げ、さらに利子補給、保証料 補給を継続)により、利用者及び融 資金額ともに増加し、その傾向が 続いている。 ・中小企業特別対策事業 主に大船渡商工会議所に、市内 経済情勢の分析や経営相談及び情 報紙発行等の事業を委託している。 ・その他に関連事業として、三陸 地震災害に伴う復旧資金の借り入れ について、利子の一部を継続補給 している(15件)。
					融資件数・融資額(設備資金を含む)	133	175	202	191	件	業務取得	商工観光物産課	・市融資あっせん制度利用状況資料	平成20年度の市融資あっせん制 度の融資件数は191件、融資額 は1,108,045千円といずれも前 年度よりは減少しているが、平成 18年度以降の大幅に伸び、その 後横並びで推移している。これ は、市独自の利子補給等の優遇 策が評価されたものであり、リ ビーターが多く、当分の間、この 傾向は継続していくものと考えら れる。	
3 買い物に便利なまちづくり	商工観光物産課	市民 事業者 商業施設 市外からの来訪者	人口 事業所数	市内で買いたいものが揃う 市外の人にも市内へ買い物 に来てもらう	買い物するとき欲しいものが 地元で買える市民の割合	61.1	59.6	58.7	57.8%	%	市民アンケート	商工観光物産課	・H20市民意識調査で取得 (問10)あなたは、大船渡市の買 い物環境について、日頃、どのよ うに感じていますか? 買い物 は欲しいものが地元で買える と思う26.0(%) どちらかといえば思う31.8 (%)	市民アンケートで、「買い物する とき、欲しいものが市内で買え る」と答えた市民は57.8% (19年調査58.7%)であり、 約6割程度の人は市内での買 い物環境に満足している。ま た、地元商店街よりも市内の 大型店に向かう傾向が強い が、地元商店での買い物をする 割合が増加した。	・大船渡駅周辺整備事業 東西自由通路と都市施設建設の 基本計画調査に係る協議をJR 東日本盛岡支社と行った。 ・上記のほかに、関連事務事業 として、大船渡駅前広場管理運 営事業もある。
					第一種第二種大型店舗数	7	7	7	7	店舗	業務取得	商工観光物産課	・商工観光物産課統計データ	市内の第一種第二種大型店 舗数は、7店舗であり変動は ない。 コンビニエンスストア店舗 数は、横並びで推移していた が、平成20年度は2店減少し、 13店舗となった。	
					コンビニエンスストア店舗数	未把握	15	15	13	店舗	業務取得	商工観光物産課	NTTタウンページから商工 観光物産課が把握	・状況を好転させるには、様 々な業態の集合体である商店 街全体の取組みではなく、成 功事例を参考にしながら、個 店としての新たな取組みを行 う必要がある。	